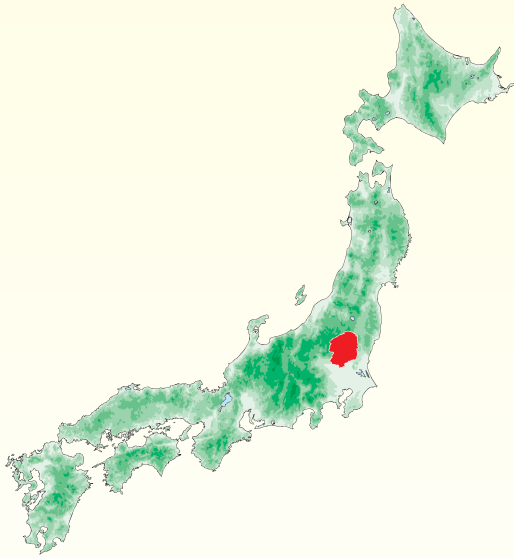




ちぎの魅力

栃木県は関東地方北部の内陸県で、首都東京から60～160kmの位置にあります。豊かな自然にあふれ、また世界遺産「日光の社寺」など歴史文化遺産も数多くあります。



東端	東経 140度18分
西端	東経 139度20分
南端	北緯 36度12分
北端	北緯 37度09分

1 広大な農地、豊かな水資源

- (1) 東西約84km、南北約98km、面積は6,408km²あり、関東地方で最も広大な県です。県土の約半分が標高200m以下、県土の約20% 1,255km²を農用地が占めています。
- (2) 那珂川、鬼怒川など関東有数の河川が流れ、豊富な地下水とともに、年間約23億m³といわれる農業用水の需要をまかなっています。また、河川の源流部に近いため水がきれいで、高品質な農産物の生産に役立っています。

2 恵まれた気象条件

栃木県は温帯湿潤気候に属し、内陸県のため、1日の最高気温と最低気温の較差が大きという特徴があります。

夏期は山地の降水量が多く、県全域で雷が多いことでも知られています。冬期は山地では降雪量が少なく、平地では乾燥した晴れの日が多くなっています。特に冬期の日照時間の長さ、降雪日数の少なさから、施設園芸に向いています。

これら農業生産に向けた気候条件のもと、県内では北方型のりんごや南方型のみかんが栽培されるなど多種多様な農産物が生産されています。

3 東京まで1時間の交通アクセス

道路は、南北に東北自動車道(川口～青森)、国道4号、新国道4号の広域幹線道路が走り、東西に北関東自動車道、国道50号が茨城県から群馬県までを結んでいます。

鉄道は、南北に東北新幹線、JR宇都宮線が走っています。東北新幹線は東京から小山まで43分、宇都宮まで48分で直結しており、東京への通勤圏となっています。

このため、栃木県は首都圏の食料供給基地として重要な役割を担っています。

4 抜群の生活環境

有史以来マグニチュード7以上の地震発生がなく、また、台風や洪水などの自然災害が極めて少なく、住み良さの要素の一つになっています。中心地である宇都宮市では、行政機関をはじめ、金融機関、企業の本社・支社が集結しています。

その県都宇都宮を中心として放射状に道路網が整備されており、県内の約75%の地域から宇都宮市(県庁)まで1時間以内で来ることが可能となっています。

